東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー
テーマ

奉仕を通じて
平和を

Vol.46　第2253回例会　2013.3.7

今年度会長テーマ　和で輪を広げ、前に進もう

■司会：
野澤例会運営
副委員長

■点鐘：中丸会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
石山会員

■お客様紹介：
野崎パスト会長

◆ゲスト：青梅ＲＣ
岩尾碩様

◆ゲスト：青梅ＲＣ
金井国俊様

◆ゲスト：東大和ＲＣ
金野眞一様

◆ビジター：
入会予定者
北久保隆一様

◆ビジター：卓話者　松岡和也様

■会長報告　中丸会長

皆様こんにちは。ここ2～3日気温が大分暖かくなり、いっきに春めいてまいりました。桜の開花も25日ごろとの気象庁の予報ですが、少し早まりそうな気配です。23日に予定される歩こう会のころには桜が開花していると思います。多くの会員の参加をお願いしたいと思います。

さて本日は東京青梅ＲＣの岩尾様、金井様、創立50周年記念式典の御案内にようこそおいで下さいました。当クラブは全員登録で参加させて頂きます。東京東大和ＲＣ金野様ようこそおいで下さいました。ごゆっくりして行って下さい。本日卓話をお願い致しました松岡様、卓話楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。

本日は報告等沢山ありますので挨拶は省略させて頂き、昨日行われました理事会の報告をさせて頂きます。

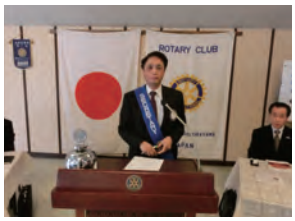
第9回3月度理事・役員会
2013年3月6日（水）　18:30～　於 たきび

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30
■例会場／八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／石山　敬
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500　FAX 042-395-1166

1．2月の収支明細報告について
2．その他
①新入会員の件
清水 啓量(しみず ひろかず)
昭和38年6月25日生
(有)清水自動車 取締役：清瀬市野塩5-261
自宅：武蔵野市吉祥寺南町2-3-15バローレ609
②東京秋川ＲＣ40周年創立記念式典登録の件
・東京秋川ＲＣ「全員登録」としない経緯
実行委員会立ち上げ当初、東日本大震災直後の自粛ムードが各地域であった為、式典について各クラブへ伝える時期が遅れてしまった。その為クラブ予算等に迷惑をかけるのではないかとの配慮から、「全員登録ではない」と言う形になった。が、特に会場制限や人数制限を設けた訳ではないので来て頂ける方は是非とも来て頂きたいとの事。
(参考)
武蔵村山ＲＣ、青梅ＲＣは全員登録の予定
③東京青梅ＲＣ創立50周年記念式典
5月21日(火)
明日(3/7)例会にてＰＲと全員登録のお願いに来訪予定
④東村山市緑を守る市民協議会「春の祭典」協賛(賛助会費)について
⑤年誌について
⑥東京ＲＣ「東北すくすくプロジェクト」参加協力依頼
・協賛金　1クラブ5万円
⑦その他

■幹事報告　赤木幹事



■ガバナー事務所：
2013～14年度「地区インターアクト委員会委員」就任承諾書の受理
2013～14年度地区インターアクト委員会委員
飯田能士会員

■ロータリー情報委員会：
多摩分区「指導者育成セミナー」の案内の受理
2013年3月18日(月)　16:30～
於　フォレストイン・昭和館
各クラブ4～5名

■東村山市青少年対策協議会：
「第17回スーパードッジボール大会」開催の案内について
2013年3月9日(土)
午前の部(3・5年生)　9:00～
午後の部(4・6年生)　13:30～
於　市民スポーツセンター

■東京ロータリークラブ：
「東北すくすくプロジェクト」参加の呼びかけ
東京ＲＣ内にチャレンジ100委員会を設置
被災地の赤ちゃんとママのために「東北すくすくプロジェクト」
協賛支援金　1クラブ5万円

■国際奉仕委員会：
国際奉仕活動及び姉妹クラブについてアンケートのお願い
締切　3月20日

■米山奨学委員会：
・地区米山奨学委員会(新旧合同)の案内の受理
2013年4月4日(木)　15:00～
於　ガバナー事務所
・米山オリエンテーションの案内の受理
2013年4月18日(木)
於　ハイアットリージェンシー

■東京武蔵村山ＲＣ：式典お礼状の受理

■東海大菅生高等学校：
2013年度東海大菅生高等学校並びに中等部入学式の案内
2013年4月9日(火)　10:00～
於　高等学校体育館

■訃報：
・東京秋川ＲＣ元会員　宮崎和夫様(04～05年度幹事)逝去
・東京武蔵村山ＲＣ元会員　網代光年様(81～82年度会長・90～91年度分区代理)逝去

■例会変更：
東京田無ＲＣ　3月14日(木)→移動例会に変更

■出席報告　相羽例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
29	22	0	3	88.00

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：4名
■前々回出席率メークアップ修正後：84.00%
■前々会メークアップ者：
飯田会員：京都西ＲＣ
金子会員：理事会
漆原会員：理事会

■ニコニコＢＯＸ　　山宮クラブ管理会員

■ご結婚祝月：
當麻会員

■会員誕生祝月：
隅屋会員

■令夫人誕生祝月：
戸澤会員、相羽会員
石山会員

◆東京青梅ＲＣ岩尾様、金井様：
青梅クラブ50周年のご挨拶に上がりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

◆東京東大和ＲＣ金野様：
お世話になります。

◆中丸会長、赤木幹事：
本日は、青梅ＲＣ岩尾様、金井様、東京東大和ＲＣ金野様、ようこそおいで下さいました。松岡様ようこそ！　卓話を楽しみにしております。入会予定者の北久保様ごゆっくりして行って下さい。写真ありがとうございます。

◆嶋田会員：岩尾碩様、金井国俊様ようこそ。どうぞごゆっくりして下さい。又、北久保隆一さんお久しぶりです。元気でお会い出来て嬉しいです。今後が楽しみです。

◆相羽会員：松岡さん本日の卓話宜しくお願いします。倫理で大変お世話になり、当東村山ＲＣの卓話をお忙しい中、お引き受けいただきありがとうございます。

◆野崎会員：岩尾元ガバナー補佐、金井様ようこそおいで下さいました。北久保様、入会をお待ちしています。

◆戸澤会員：久し振りに大勢のお客様においでいただきありがとうございます。オン・ツー・リスボンまだ間に合います。山本さん写真ありがとうございます。

◆山本会員：東京青梅ＲＣ岩尾様、金井様、東京東大和ＲＣ金野様ようこそいらっしゃいました。どうぞごゆっくりと当クラブの例会をお楽しみ下さい。

◆當麻会員：岩尾様、金井様、金野様、ようこそいらっしゃいました。

◆樺澤会員、相羽会員、野村(高)会員：
写真ありがとうございました。

本日のニコニコ合計：　50,000円
累　　計　：1,023,800円

■ゲスト挨拶

■青梅ＲＣ創立50周年記念
実行委員長：岩尾碩様

皆さん、こんにちは。貴重なお時間を拝借いたしまして恐縮でございますが、一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。私も久々に当クラブにお邪魔いたしました。いつ頃だったかと先程から考えていましたが、2006-2007年に青梅クラブから小澤秀瑛ガバナーが出ました時に、私が地区幹事として、また金井さんが副幹事として各クラブにお邪魔いたしましたが、その時くらいかなと思いながら、それにしてもちょっと間が空きすぎているなとも思いつつ、あまり記憶していない感じですが、お邪魔してみてさすがこちらのクラブも歴史の長いクラブであるだけに、ベテランの会員さんも多く、風格のある例会の雰囲気だということに改めて感心いたします。と同時に、今日の例会進行もテキパキと明るく非常に活気を感じて、学ぶところ大いにあり、という気持ちで今いるところでございます。

さて先程、中丸会長よりご紹介いただきましたように、私ども青梅ＲＣは5月21日に創立50周年という大きな節目を迎えることになりました。それにつきましてもこちらのクラブは全員登録というありがたいご報告を頂きまして、大変感謝いたしております。今、実行委員会を組織しまして、不肖ながら私が名ばかりの実行委員長でございまして、金井会員が実質の実行委員長ということで、日夜鋭意専念して少しでもいいものをつくりたいと思っておりますが、なかなか気ばかり焦って現実はともなわなくて地団駄を踏んでいるという状況ではあります。それでも少しでもいい、和やかな会にもっていきたいと思っておりますので、どうぞ皆さん御揃いでお出かけいただきますことをお願い致しまして、まず私の挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

■青梅ＲＣ創立50周年記念
副実行委員長：
金井国俊様

こんにちは。青梅ＲＣの金井でございます。久しぶ

りに八坂神社にお参りをさせていただきました。仕事柄もう少し早く来なくてはいけなかったのではないかと思いますが、ご無沙汰しております。
今、岩尾実行委員長の方からお話がありましたが、青梅ＲＣもようやく半世紀を迎えることができました。どうぞ皆様方御揃いでご出席いただければありがたいと思っております。誠にあつかましいお願いですが、先程、相羽さんにもお願いしたのですが、当日ご出席なさる方のお名前を決定していただいてお送りいただけるとありがたいと思います。きちんとした席を設けて、そこでゆっくりとお過ごしいただきたいと思っているものですから、どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

■委員長報告

■山本会員研修委員長

皆さん、こんにちは。今日は小町委員が急遽お休みということで、私の方から「ロータリーの友」の読んでいただきたいページだけを簡単にご紹介させて頂きたいと思います。
今月は識学率向上月間ということで、日本では字が書ける読めるは当たり前ですが、世の中ではそうではないということのようであります。
まず、横書きの14Pの「フィリピンで根付くＣＬＥ方式授業」を読んでいただきたいと思います。17Pの「地域とともにローターアクター」ではローターアクターたちの頑張っている活動の様子が載っております。ここもぜひ読んでおいてください。
横書きの44P、45Pには今年度の各地区のガバナーのロータリー感が書いてあります。こちらもぜひお読みください。
また、縦書きの22Pにはミニバスケットボールのことが書いてあります。東村山は非常にミニバスケットボールが盛んな地域であります。こちらもお読みいただきたいと思います。時間の関係でページのご案内だけで終わらせて頂きます。ありがとうございました。

■地区米山委員会
野崎副委員長

さる3月1日にハイアットリージェンシーで米山奨学生の修了式を行いました。当クラブからも朴くんがめでたく石川ガバナーより修了証書をいただきました。奨学生、カウンセラー、大学関係の教職員、ロータリアン、総勢93名の方が参加されました。特に米山委員会につきましては実質4月から始まりますので、4月からの新しい地区委員も10名ほど選考していただきました。
その席で、奨学会の坂下事務局長からお話がありまして、今年度は「奉仕を通じて平和を」ということですが、ベルリン、ホノルル、広島で平和フォーラムが行われるというのはすでにお聞き及びかと思います。その中で、1993-1994年に当クラブで世話をしましたジェフェリー・ベアさんがパレスチナのロータリークラブを設立したということで、私が後でネット検索したのですが、彼は10分間ほど発言の機会が与えられたそうです。世話クラブの東村山ＲＣには歓迎してもらい、大変お世話になりましたということが書いてあります。これを会長の方から後で回覧しますので、お目通し頂きたいと思います。ありがとうございました。

■卓話

■卓話者紹介：
相羽プログラム委員長

改めましてこんにちは。本日は松岡先生に卓話をお願いしました。私は、松岡先生とは10年程前から倫理法人会の方でご一緒させていただいており、倫理の方でも大変ご活躍された先生です。すごいことに、毎日1,000日続けてモーニングセミナーに参加したという方で、もちろん出張などの場合は全国に会場はありますので行った先で参加し、一日も欠かさず業を成されたということで、よく存じております。
最近ではカンボジア支援ということで、カンボジアにあるＮＰＯ法人に支援されています。学校では200校位、病院や医療にも寄付をされています。ロータリーの我々もポリオ撲滅や地雷除去などいろいろやっていますが、ロータリアンではないのですがボランティアに力を入れていらっしゃる方です。また、全国を回ってワンコインセミナーという形で皆さんにいい話を聞いていただきそれを寄付されているので、そういった話をしていただけると思っております。それでは松岡先生、よろしくお願い致します。

■卓話者：松岡和也様

カンボジア支援について

皆様、改めましてこんにちは。フェニックス・アイの松岡和也と申します。仕事は今、社会問題になっております認知症に非常に効果があると言われている水素という調剤を扱うビジネス、あとは企業研修のトレーナーをやらせて頂いております。
今日はカンボジアの支援ということで、今年も4月と11月に行くことが決まっているのですが、どのようなことをやっているかというお話をさせて頂きたいと思います。

まずは映像をご覧ください。毎年、4月と11月に寄付した学校、そして井戸を視察に行っておりますが、その時の映像です。カンボジアとの出会いは今から3年程前になります。大正時代に大田区の方で水道を引いた小野藤兵衛という人が私の祖先なのですが、私の祖母が子供の頃から彼の話をよくしてくれていたので、水、水道に対しての興味は非常にありました。今から3年程前に四国の愛媛松山で世界地図の企画制作をされている松岡功社長の講和を聞いいた時に、その世界地図の売上げの数パーセントをカンボジアに寄付している、カンボジアとはこういう国だ、というお話に非常に血が騒ぐというか、ここからカンボジアに対する支援が始まったのです。

松岡社長の話で一番心に残っているのは、日本の子供たちに「君たちの夢は何？」と聞くとプロ野球選手、サッカー選手、医者など、いろいろな答えが返ってきますが、カンボジアの子供たちに同じ質問をすると「大人になること」と言うらしいです。大人になれない国なのかと思い調べてみると、実はそういう国でした。非常に環境が悪く、首都のプノンペンでは、だいぶ整備されていたのですが、少し田舎に行くと水道がなく、溜池にボウフラが湧いているというような水を飲んでいます。だいたい免疫力のない5歳までに子供たちは感染症や下痢で命を落としてしまいます。

今、人口は1,400万人ほどで国土は日本の本州より少し小さいくらいです。昔、非常に悲惨な歴史がございまして、ポルポトによる内戦が続いて大量虐殺をしました。私もびっくりしたのですが、世界史を見ても例えばたくさん人を殺したという有名なヒトラーなどが挙げられるのですが、なんとポルポトは当時カンボジアの人口800万人のうちの4分の1、200万人を殺したのです。それも無差別に、特に知識階級なる人間を大量に殺しました。プノンペンの方に収容所の跡があるのですが、そこに木が植わっています。その木の、手が届くか届かないかのところが赤く染まっています。これは血なのです。子供の足を持って頭を木に叩きつけて殺した、その血が染みついたまま木が伸びていった、非常に悲惨な国であります。ですから、生きていくのは困難で、病気になりやすい国で、医者や社会的地位のある人間は殺しましたのでいないのです。かつ、病気を治せない国なのです。他の国の援助が不可欠な国だと聞いて、行ってみよう、私ができる微々たることでも何かあるかもしれないと思い、行ったのが3年前なのです。

私が所属するＮＰＯはＳＣＨＥＣといいます。鶴見の歯科大学の先生が理事をやっており、10年程日本でカンボジアに対して歴史のあるＮＰＯで、井戸も2000本、学校も200校、寄付をしているＮＰＯです。鶴見歯科大学を出た卒業生の方たちと一緒に100名くらいで行き、ボランティア活動をしています。カンボジアにあるアンコールワットは世界遺産の中でも特に人気のある遺跡ではないかと言われていますが、5～6日のツアーのうち1日はこの遺跡を巡るようにしています。

寄贈した井戸は1本25,000円です。10万～20万とられるボランティア団体もあるようですが、うちは一切利益をとりませんのでこの値段です。寄付してくれた方のお名前や会社名をのせて看板をたてますが、その方が行かれなくても写真を撮ったりしてお渡しする、という活動も行っております。

今、「ワンコインセミナー」というものを全国でやっているのですが、これは私がトレーナーとしてやっている成功哲学、目標達成といったプログラムと、こういったカンボジアに対する支援、「成長と貢献」というテーマでやっており、1回やるたびに一人500円いただくのですが、それが50人になろうとなるまいと必ずワンコインセミナーをやる度に一つの井戸を贈るという活動をやっています。東京、大阪、秋田、新潟、高知などいろいろなところでやっております。その井戸は現地に必ず見に行き、子供たちと一緒に写真を撮ってきます。看板には全員の受講生の名前を出せませんので、ワンコインセミナーの開催日、場所などを載せるようにしています。

カンボジアの子供たちの目は、日本の子供たちより澄んでいるように見えました。なぜ澄んでいるかと聞くと、私も知らなかったのですが、栄養失調の子は目が澄むと言っていました。

学校はだいたい平屋で5つの教室だと350万円程で一つの校舎が建ちます。うちのＮＰＯでは過去10年で小学校、中学校200校位を贈ってきました。お金を出して頂けるのは非常にうれしいことなのです。ただ、ほとんどの方がお金を出せばいいと思われているようですが、実際に学校を寄付して向こうに行って驚いたことがあるのです。どういうことかというと、喜ばれるのではないかなと思って行ったのですが、確かに子供たちは喜んでくれました。ただ、中には「なぜ学校をつくるんだ」と怒る親もいました。「子供は農作業の一人の人手として大事なんだ。学校ができることによって人手不足になってしまう。うちは勉強なんかさせる必要はないんだ！」と言われたことはショックで記憶に残っています。

向こうに行った時には列の左側に日本の国旗、右側にカンボジアの国旗を持って、全校生徒と地域の人々、先生たちが並んで歓迎してくれます。この間を歩くときの気持ちはお金では買えないような気分でした。教室には電気も水もありません。窓を大きくして、電気がなくても日の光で勉強できるようにつくっています。子供たちはとても純粋で、言葉は通じなくても笑顔があれば気持ちは通じるし、すぐに仲良くなれます。

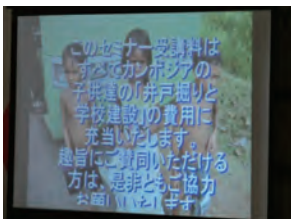
実は今でもあるのですが、売春の問題があります。12～14歳の女の子がなぜ売春するかというと、ほとんどの子が親のエイズの薬を買うために売春をする、そして悲惨なことに、また子供がエイズになる、というのが現実です。

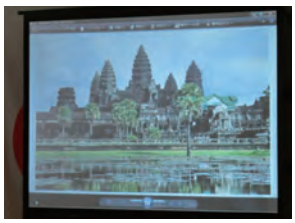
また、カンボジアに10代の学生の子と一緒に行ったりもします。前回は不登校、引きこもりの子と一緒に行ったのですが、今まで親や先生がいくら注意しても治らなかったのに、カンボジアで自分と同世代の子供たちの生活を見て、自分はなんて恵まれているんだと気が付いて引きこもりが治ったという報告を受けています。言葉で言うよりも実際、現地に行って貧しい子供たちを見て気付きがあったということをうれしく思いました。

歯医者もありません。皆、歯が悪くなりますので、青空治療を受けます。100人くらいのボランティアの歯医者さんと行くのですが、そこにみんな集めてどんどん治療していきます。電気もないので、一人が押さえて、一人が懐中電灯を照らし、継続治療もできませんので一人が抜きます。子供をはじめ、ほとんど麻酔もかけずに皆さん我慢強く歯を抜きます。

こういうツアーを毎年4月と11月に5～6日行くのですが、ぜひお時間のある方はご一緒していただければいいかと思います。25,000円寄付頂ければ、会社名を入れて井戸を責任もってつくり、写真も撮ってきますので、いろいろな形でぜひご協力頂ければうれしく思います。また、ワンコインセミナーも500円受講料は頂くのですが、1回やる度にそれも井戸にしますので、皆様方の社員さんや営業の方などはぜひそういったことで社会貢献につながります、という企画でやっております。

よく「なぜカンボジアなのですか？」と言われます。日本に3.11があって大変な時にカンボジアどころではないのではないか、という意見に対して私は決して否定はしません。ただ、事実として3.11のあとにカンボジアから数億円という義援金をいただいております。カンボジアで言う数億とは非常に大金です。なぜそれだけのお金が集まったかというと、カンボジアの人たちは過去に日本の先輩たちがカンボジアに対してとても良くしてくれた、今こそその恩返しをする時期だという意見が多かったということです。大変に素晴らしいことだと思います。本日はご清聴ありがとうございました。





■点鐘：中丸会長